



公益財団法人千葉県教育振興財団  
令和6年度遺跡見学会

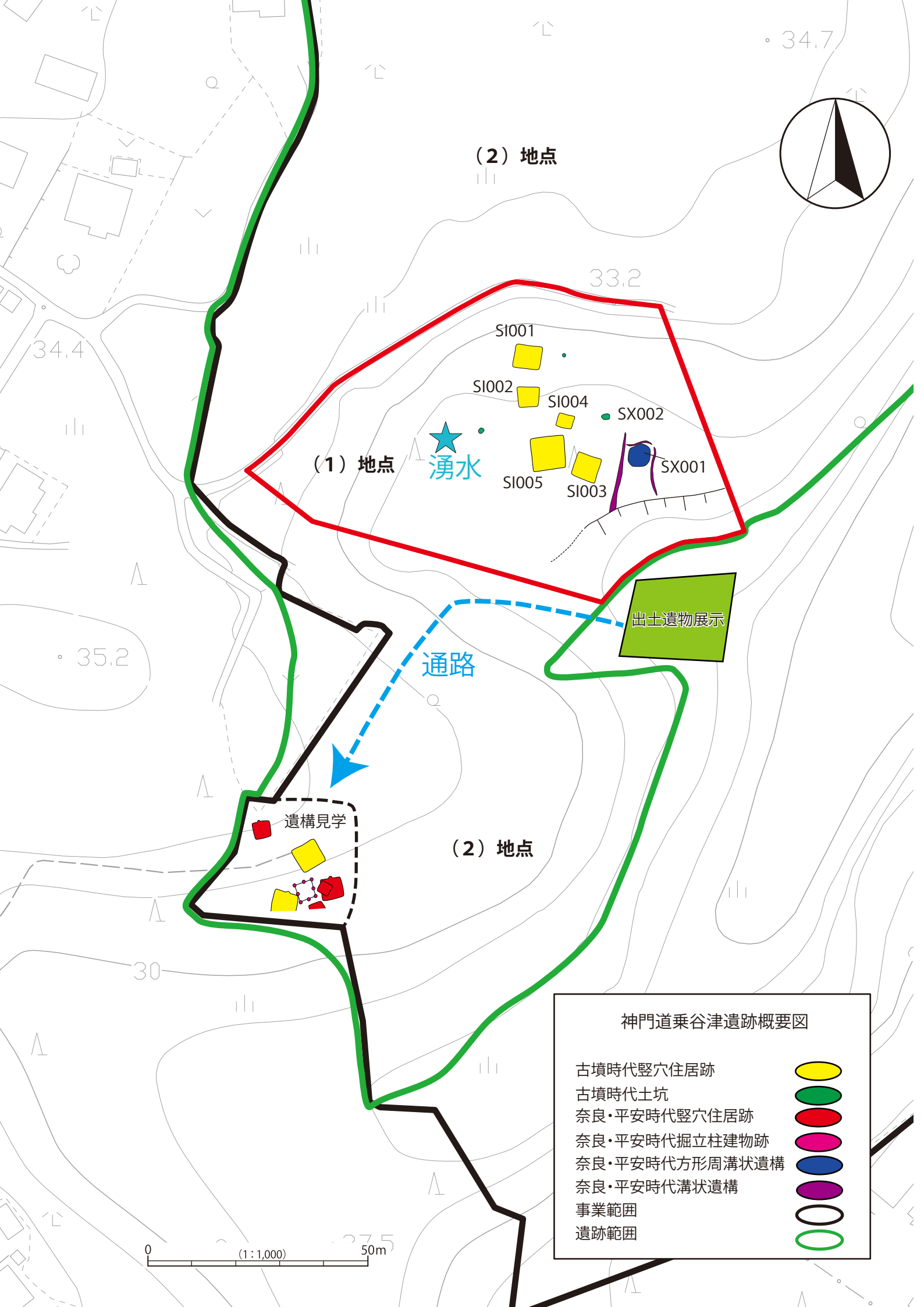
**佐倉市**

# こ う ど どう じ ょ う や つ **神門道乗谷津遺跡**

～ 1,300年前頃の竪穴住居跡の調査～







(2) 地点

(1) 地点

湧水

SI001

SI002

SI004

SX002

SX001

SI005

SI003

出土遺物展示

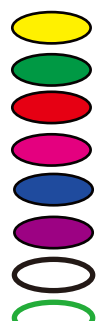
通路

遺構見学

(2) 地点

神門道乗谷津遺跡概要図

- 古墳時代竪穴住居跡
- 古墳時代土坑
- 奈良・平安時代竪穴住居跡
- 奈良・平安時代掘立柱建物跡
- 奈良・平安時代方形周溝状遺構
- 奈良・平安時代溝状遺構
- 事業範囲
- 遺跡範囲



0 (1:1,000) 50m

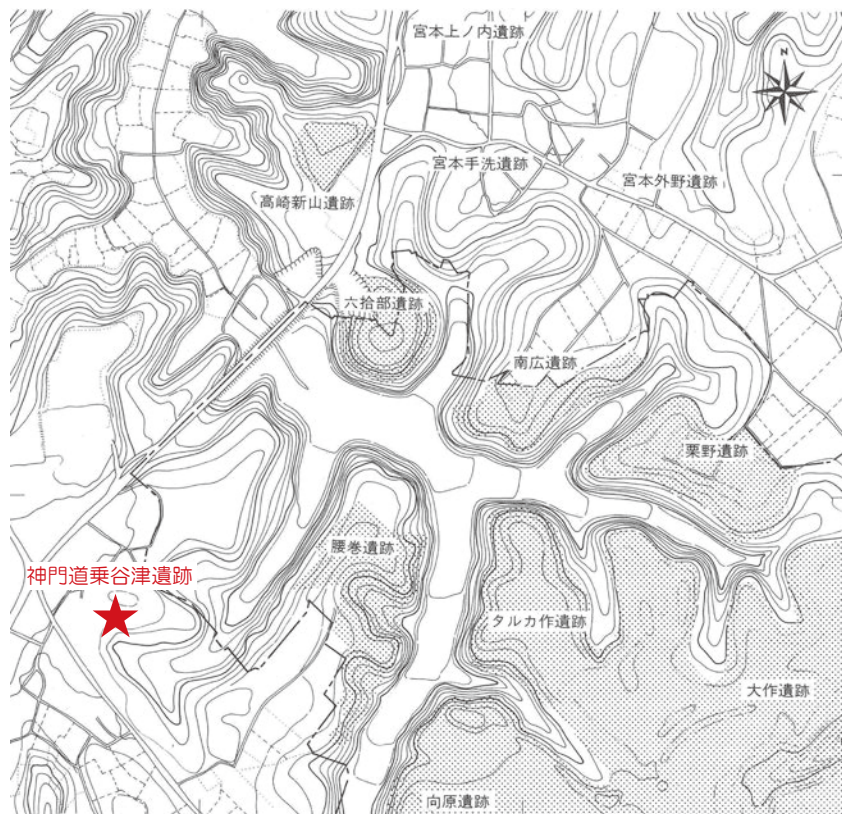


# 佐倉市 神門道乗谷津遺跡

佐倉市神門道乗谷津遺跡は、印旛沼に流れ込む高崎川の支流、南部川から入り込む谷の最奥部に位置する古墳時代から奈良・平安時代の集落です。この一帯は、佐倉第三工業団地造成に伴い、昭和54年から60年にかけて、15遺跡の発掘調査が行われていますが、神門道乗谷津遺跡はこれらの中で最も西側にあります。

現在行われている発掘調査は、令和6年1月から実施されています。(1) 地点の調査は4,488㎡を対象として、令和6年1月から8月にかけて実施され、古墳時代の竪穴住居跡等が発見されました。

今回ご覧いただく(2) 地点は、34,157㎡を対象として令和6年11月から発掘調査を開始しました。これまで古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが発見されており、現在も調査が進行中です。



佐倉第三工業団地内遺跡分布図（千葉県文化財センター 1993『佐倉市南広遺跡』より引用）



確認トレンチ（黒い部分が住居跡）



竪穴住居跡の調査



神門道乗谷津遺跡空中写真（Google Earth）



# 神門道乗谷津遺跡（1）地点の調査成果

神門道乗谷津遺跡（1）地点の調査では、古墳時代後期（約 1,400 年前）の竪穴住居跡 5 軒・土坑 1 基、奈良時代（約 1,250 年前）の土器が出土した方形周溝状遺構 1 基、遺物集中地点などが見つかりました。

現在調査中の（2）地点を含めて、佐倉第三工業団地遺跡群の集落変遷や土地利用などを考えるうえで重要な成果となることが期待されます。



（1）地点の全景



SI001 竪穴住居跡と出土遺物



SI003 竪穴住居跡と出土遺物



SI005 竪穴住居跡と出土遺物



SX001 方形周溝状遺構と出土遺物



SX002 遺物集中地点と  
出土遺物